

学校名	福島県立会津高等学校	校長	箱崎 二三彦
住所	福島県会津若松市表町3番1号	ホームページ アドレス	http://www.aizu-h.fks.ed.jp/
T E L	0242-28-0211		

【タイトル】

「グローバルリーダー」をめざして



【取組の概要】

本校は、下賜金と山川健次郎（会津藩士で、後の東京帝国大学総長）らの会津出身者の尽力によって「私立会津中学校」として開校しました。校是を「好学愛校」「文武不岐」とし、剣舞委員会は、自刃した白虎隊鎮魂の舞を奉納しています。また、4年前より20名程度の1年生が、山川の母校であるイェール大学で研修をするアメリカ研修を実施し、会津人としてだけでなく、グローバルリーダーとならんとする人材を育成しています。

【内 容】

剣舞委員会は毎年4月24日と9月24日の2回、明治維新の会津戊辰戦争の折、自刃した少年武士たちの鎮魂と慰撫の舞を白虎隊墓前祭で奉納しています。これは1884（明治17）年の白虎隊17回忌祭に私塾日新館から始まり、それが会津中学校へと伝えられ、戦争による中断はあったものの、貴重な時間を割いて剣舞を指導してくださるOBをはじめとする諸先輩方や、地元会津とともに綿々とその伝統と気概を引き継いでいます。



次に、アメリカ研修は4回目を迎え、今回は3月23日～31日（9日間）の日程で実施しました。この研修に至るまでには事前研修を何回も実施し、特に今回は福島の現状を他国の留学生にプレゼンテーションするという大事な使命を担っていたので、その準備に生徒たちは協力し合って出発前日まで、最善を尽くしていました。そのプレゼンは5日目の午後に語学学校のハーバードキャンパスで行い、事前に自分たちで各国からの留学生に集まってもらえるように呼びかけ、プレゼン後には留学生と福島をテーマにディスカッションをしたりと充実した体験をすることができました。



今回の研修では、2日目からの5日間、午前中はノースイースタン大学の語学学校で、他の留学生と一緒に英語クラスに参加しました。午後にはこの研修のもう一つの楽しみである学校見学があり、ノースイースタン大学、マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学や、山川健次郎の母校であるイェール大学でのキャンパスツアーや、各大学や大学院で学ぶ学生によるレクチャーを受け、交流を持つことができました。

7日目にはニューヨークで活躍する福島県出身の方々との座談会があり、この場でも5日目に行ったプレゼンを披露しました。

このように、短期間ではありましたが、アメリカの文化や歴史に触れることができ、また、様々な国からの留学生とコミュニケーションをはかることができ、グローバルな視点を多少なりとも得ることができました。グローバルな視点をもって会津や日本のリーダーとしてはもちろん、日本のリーダーとして世界で活躍できる将来を描くきっかけになったと思われま

【感 想】

墓前祭参加者の感想：「剣舞奉納の際の会場全体の緊張感と舞手の気迫にはいつも圧倒されてしまいます。また、今年は全国各地から見に来てくださった人が多く、私たちが受け継いでいる白虎隊剣舞の素晴らしさを改めて感じました。そのことを胸に止めつつ、墓前祭に向けて練習に励んでいきたいと思ひます。」

アメリカ研修参加者の感想：「アメリカに住む日本人の方やいろいろな国から留学している方との交流で、視野を広げること、足下を固めることの大切さを感じさせられました。また日常的に英語を使うという、これまで経験できなかった9日間で刺激あふれる研修でした。」